

赤潮・貧酸素情報（３）

令和元年 7 月 2 5 日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

7 月 2 4 日（水）に全域調査を行った結果、有害プランクトン（カレニア・ミキモトイ）による赤潮や貧酸素の発生はありませんでした。

＜プランクトンの状況＞

○一部海域で発生していた、カレニア・ミキモトイによる赤潮（海面の着色）は確認されませんでした。

＊本種は、海水1ccあたり数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。

＊増殖初期は中層で増殖する性質を持っているので、海面からの観察では着色が判別しにくい種類です。

○しかしながら、本種は局所的に密集することが多いため、船がその海域を通過した際、活け間内で魚介類がへい死することがあるので、操業の際は引き続き注意をお願いします。

＜貧酸素の状況＞

○全点全層において、酸素濃度は50%以上となっており、貧酸素（酸素濃度30%以下）は発生していません。

＜今後の対応＞

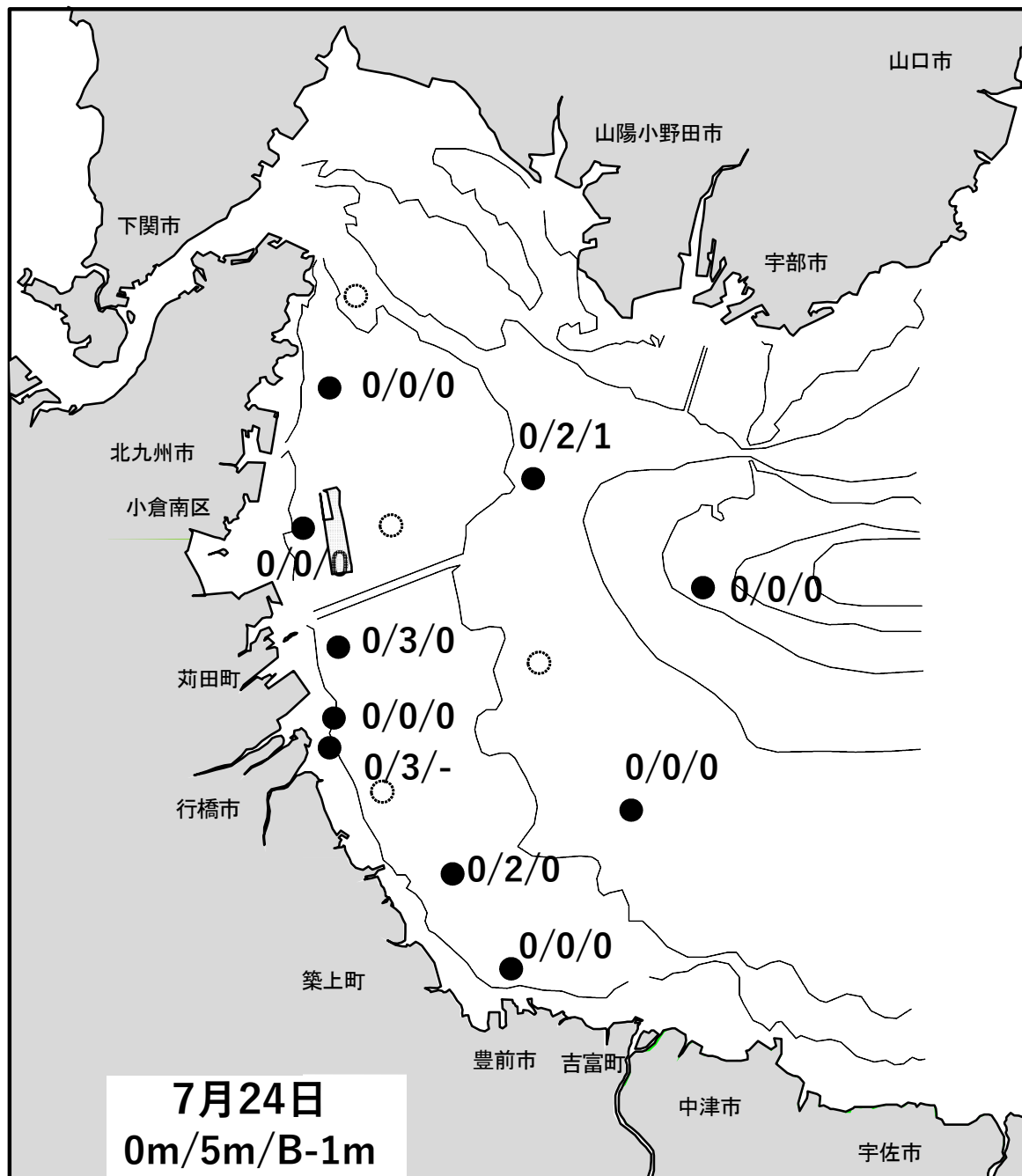
○先日までの降雨による河川からの栄養分の供給と、梅雨明け後の日照時間の増加や水温の上昇によって、今後、当該プランクトンが増殖することや、貧酸素の発生も懸念されます。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意ください。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、
豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、後川)までご連絡下さい。

7/24漁場調査結果

(海水 1 ccあたりのカレニア・ミキモトイの細胞数)



黒●は調査点

数字は、左から表層/水深 5 m層/海底から 1 m層の
カレニア・ミキモトイの細胞数 (ーは欠測)

水温 [°C]	St.1	St.2	St.3	St.8	St.11	St.12	St.13	St.15	蓑島
0.5m	28.08	26.58	25.44	27.46	26.31	26.21	25.97	25.79	26.05
2.5m	26.65	26.23	25.48	26.68	25.88	25.91	25.54	25.40	25.81
5m	25.52	25.12	25.50	25.68	25.27	25.34	25.04	25.13	25.17
10m		24.62	24.64					24.74	
B-1m	25.48	24.57	20.41	25.25	24.98	25.06	24.94	24.73	25.01

塩分 []	St.1	St.2	St.3	St.8	St.11	St.12	St.13	St.15	蓑島
0.5m	27.51	28.71	29.99	28.55	28.36	27.57	27.67	27.33	29.00
2.5m	30.02	30.89	30.77	29.32	30.01	28.73	29.54	28.80	29.89
5m	31.55	31.83	31.20	30.72	30.86	30.28	30.29	29.99	31.00
10m		32.16	32.11					31.82	
B-1m	31.89	32.19	33.09	31.84	31.34	30.83	30.68	31.97	31.52

溶存酸素[%]	St.1	St.2	St.3	St.8	St.11	St.12	St.13	St.15	蓑島
0.5m	126.4	129.9	118.7	126.8	131.1	145.5	140.5	141.4	135.8
2.5m	125.5	113.0	116.3	129.4	121.0	131.6	126.3	129.8	121.8
5m	95.3	101.7	111.1	115.2	93.5	109.2	113.3	117.1	101.4
10m		80.9	97.1					86.4	
B-1m	75.8	76.5	68.9	73.1	79.0	99.1	101.4	84.0	78.8